

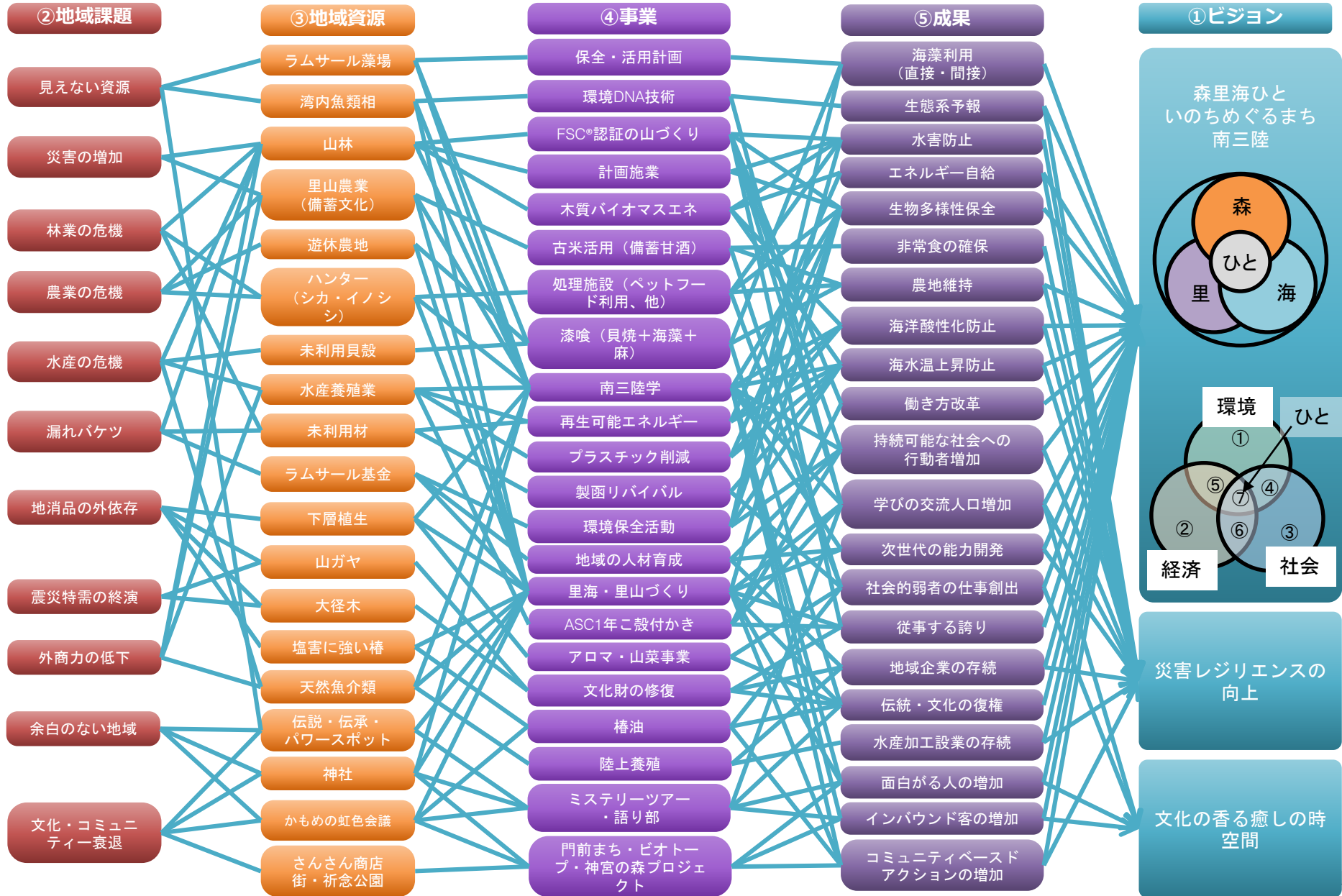
環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業
成果報告会 発表資料

活動団体名：（一社）サステナビリティセンター
活動地域：南三陸町

活動におけるテーマ・キャッチコピー
森里海ひといのちめぐるまちの事業を進め、
持続可能社会への学びを発信

地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿

南三陸ビジョン2050 (ver1.1)



地域のビジョンを実現するための成果指標

森里海ひといのちめぐるまち 南三陸

短期目標

長期目標

環境

森林管理ロードマップの作成

ロードマップ組み込み面積の増加（全町域）

志津川湾の魚類相把握
志津川湾の物理化学環境計測

志津川湾生態系予報モデルによる管理

経済

事業具体化検討件数

事業生産額500,000千円/年
事業雇用者数50人

基金事業の設置

基金への寄付額10000千円/年
基金事業による人材育成件数1000人/年

社会

里海シンポジウムの開催

教育旅行受け入れ数12000人/年

事業創出プラットフォーム

人口（転入-転出）±0

コアとなる事業の概要3つ（事業のタネ）

1	事業の名称	地域マングラブラッシュアップ	
	事業の概要	<p>地域のビジョンをより具体化し、共通認識を得る事が地域づくりの根幹となるため、地域マングラを活用してまずはビジョンの具体化を図る。次に事業のタネをできるだけ多く生み出し、地域の可能性を広げる。</p> <p>事業主体：いのちめぐるまち推進協議会</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>総論は良くても、各論において参加者の意見が別れ、それぞれの目指すものが違ってしまったり、逆にまとめようとするあまり、抽象的なレベルにとどまってしまう可能性。</p>
2	事業の名称	マングラ事業化FS	
	事業の概要	<p>事業のタネを芽吹かせ、魅力的な事業に育てていく上で必要なフィージビリティスタディ（FS）を有力事業を選んで実施する。</p> <p>事業主体：サステナビリティセンター</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>事業の担い手となる事業者がうまくみつかるとどうか。</p>
3	事業の名称	南三陸学を伝える里海カンファレンス	
	事業の概要	<p>南三陸を学びのフィールドとして認知してもらうため、学び旅の見本市として位置づけた里海カンファレンスを開催する。</p> <p>事業主体：地域の実行委員会</p>	<p>想定される課題・ボトルネック</p> <p>継続的な事業につなげるための入念な仕掛けをどこまで準備できるか。</p>

今年度事業の成果と課題、今後の意気込み

今年度の成果

(本事業に取り組んで良かったこと)

- 地域マンダラは、あらためて地域の資源、ステークホルダーと事業の関係を整理する機会となり、本事業の取り組み自体を見直すキッカケともなった。
- 普段からステークホルダーの巻き込みを意識した行動をとるようになり、取り組んでいる他の事業とのシナジーをより意識するようになった

地域の活動の上での課題

- 当初はラムサール基金を立ち上げて、地域で人材育成や自然資本の保全を行っていく仕組みを考えていたが、町の基幹産業である水産業が温暖化影響とみられる不漁で岐路に立たされていることから、寄付の仕組みで事業をつくるのは困難な状況である。
- 今、地域に求められていることは、賑わい、雇用、移住、定着等を決定づける要因となり、いのちめぐるまちの理念を具体化させる事業の創出であるとの認識に至った。

今後の意気込み

- 地域の持続可能性を高めるためには、環境・経済・社会にまたがる課題解決を達成する事業をひとつでも多くつくり、軌道にのせていくことが重要だと実感した
- 地域マンダラに記載の事業の芽を出すことに注力したい。加えて、さらに必要な事業について、ステークホルダーを増やしながらか検討を進めていきたい。